

第1回

東海三県小児在宅医療研究会

医療的ケアを要する小児期発症の重症心身障がい児が年々増加し、その多くが在宅生活を送るようになっていきます。

東海三県(愛知県、岐阜県、三重県)では、在宅生活を送る障がい児者の支援に携わる医療、看護、福祉、教育、行政等関係者の連携体制の構築を目指して、それぞれの県が小児在宅医療研究会を立ち上げ、独自の取り組みを始めています。この機をとらえ、各県における連携の輪を、東海三県全体に広げ、それぞれの地域における多様な取り組みの共有を図り、相互に連携交流ができる関係づくりを通じ、東海地域全体の在宅障がい児者支援体制の充実を目指して、初めての「東海三県小児在宅医療研究会」を開催します。皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

- テーマ** 東海三県における障がい児者在宅医療の現状と課題
日時 平成27年3月8日(日)10:00~17:00(開場 9:30)
場所 じゅうろくプラザ 2階ホール(JR岐阜駅前)

定員
400名様
参加無料

プログラム

基調講演

- 座長:三浦清邦 名古屋大学大学院医学系研究科障害児(者)医療学寄附講座教授
講師:江川文誠 重症児・者福祉医療施設ソレイユ川崎 施設長
演題:「生きてゆく訳と方法~医療と福祉と教育を同時に必要とする子どもたちのこと~」

シンポジウム①「各県における重症心身障がい児者の実態と支援施策」

- 座長:西村悟子 岐阜大学大学院医学系研究科障がい児者医療学寄附講座准教授
演者:愛知県、三重県、岐阜県の小児・障がい児者在宅医療支援担当者

シンポジウム②「在宅障がい児者を支える地域の取り組み」

- 座長:岩本彰太郎 三重大学医学部附属病院小児トータルケアセンター長

報告

- ①「小児在宅医療において地域の急性期病院に求められる役割」
水野美穂子 社会医療法人宏潤会大同病院 副院長・小児科主任部長(愛知県)
- ②「愛知県での重症児デいの取り組みと全国への広がり」
鈴木由夫 特定非営利活動法人ふれ愛名古屋 理事長(愛知県)
- ③「地域に根ざした小児在宅医療について~開業医の立場から」
近藤 久 医療法人久愛会 近藤小児科医院 院長(三重県)
- ④「三重県における小児訪問リハビリの実際と可能性」
寺島秀幸 訪問看護リハビリステーション桜 代表(三重県)
- ⑤「三重県における在宅重症児の看護と人材育成」
河俣あゆみ 三重大学附属病院小児トータルケアセンター小児看護専門看護師(三重県)
- ⑥「共に生きる・地域で生きる~超重症者の我が子が教えてくれたこと~」
市橋美保子 人工呼吸器を使用して自宅で生活する息子さんの母親(岐阜県)

総合討論

本研究会は第4回岐阜県小児在宅医療研究会を兼ねて開催します。

お申込み先



お申し込みはFAXでお願いいたします

FAX:058-278-2871

障がい児者医療推進室：山田・藤川

締 切：平成27年2月27日(金)

第1回東海三県小児在宅医療研究会 出席申込書

申込者所属 (施設名など)		
申込者 連絡先	(住所) 〒	—
	TEL	FAX
	メールアドレス (今後のご案内を電子メールでお送りしたいと思いますので、ご了承いただける方はメールアドレスをご記入ください)	
(フリガナ) 出席者氏名 ・ メール アドレス	1	(職種:)
	2	(職種:)
	3	(職種:)
	4	(職種:)
	5	(職種:)
ご連絡事項	★参加にあたり車イスなど特別な対応が必要な場合はご記入ください ★保育サービスはございませんので予めご了承ください	

会場へのアクセス

会場:じゅうろくプラザ 2階ホール

(岐阜市橋本町1丁目10-11)

JR岐阜駅隣接・改札口から徒歩約5分

自家用車でお越しの場合は、

近隣の有料駐車場をご利用ください



- 主 催 岐阜県、愛知県、三重県、岐阜大学大学院医学系研究科障がい児者医療学奇附講座、
名古屋大学大学院医学系研究科障害児(者)医療学奇附講座、三重大学医学部附属病院小児トータルケアセンター
- 後 援 岐阜県医師会、岐阜県小児科医会、岐阜県歯科医師会、岐阜県看護協会、愛知県医師会、愛知県小児科医会、
愛知県歯科医師会、愛知県看護協会、三重県医師会、三重県小児科医会、三重県歯科医師会、三重県薬剤師会、
三重県看護協会、三重県病院協会、三重県作業療法士会、三重県理学療法士会、三重県言語聴覚士会、
三重県立特別支援学校長会、三重県地域包括・在宅介護支援センター協議会